



新しい風 吹きこむ

－片岡前会長、後進に未来を託し勇退－

役員改選を伴う令和3年度通常総会が5月23日、とちぎ健康の森にて開催された。

前年度は理事・監事のみによるオンラインでの総会であったが、今年度はZoomを利用し、すべての会員の参加を可能とした。さらに、人数制限を設けた上で直接会場への参加も認めた。これにより、昨年よりも一歩前進した総会となった。

総会を開会するにあたり、会員総数 388 人に対し「5月21日までの書面表決者は302人、選挙投票者は327人で本総会は有効に成立する」と司会の倉持事業部長から宣言があった。

続いて昨年の総会以降に逝去された溝口忠会員（鹿）、椎名昌市会員（栃）、高橋浩一会員（佐）に対し黙祷を捧げた。謹んでご冥福をお祈りしたい。

今回、3期6年と長きにわたり会の運営を牽引してきた片岡祥二会長が辞意を表明された。片岡会長は、関東学術大会、95周年記念碑建立、100周年事業を成功させ、行政や医師会、日赤などとの良好な関係を築くなど多大な功績を残したが「後進に道を開き、新しい風を入れることも大切な要素だ」との思いから勇退する運びとなった。これまでのご尽力には感謝の言葉しかない。



永年在籍会員の表彰では、小椋国吉会員（宇）、瀬下治芳会員（宇）、畠山直人会員（宇）、山口浩正会員（宇）、星野登会員（栃）、金子一明会員（栃）、石井悟朗会員（足）、阿部伸二郎会員（足）、松井務会員（佐）、大橋晴司会員（鹿）、藤田功会員（塩）、阪野壽会員（那）の12人が表彰された。

また、令和2年度公衆衛生事業功労者表彰において、日本公衆衛生協会会長表彰に倉持雅之会員（芳）が表彰されたことの報告があった。

議事では、議長に大塚隆志会員（鹿）、副議長に飯嶋秀夫会員（小）が選出され、議案の議決、理事・監事選については書面表決、日整代議員・日整補欠代議員については、立候補者が定数のため規定によりすでに決定し、5月13日に送付した資料にて報告済みである。



第1号議案「令和2年度事業報告書の承認について」、第2号議案「令和2年度収支決算書・貸借対照表・財産目録・正味財産増減計画書」「互助会・政治連盟の収支について」は監査の結果、適正正確であるとの報告があった。また、議長から書面表決の開票の結果、すでに過半数の承認を得ていると報告があった。

続いて「令和3年度事業計画及び予算について」は、各担当部長が概要説明を行った。

「日本柔道整復師会関東ブロック会総会表決権の委任

新役員



前列左から半田副会長兼経理部長・田代会長・江原副会長・塚原保険部長、
後列左から小森広報・高野学術・鈴木介護保険・石井総務・倉持事業の各部長

について」は、会長に一括委任の決議をいただいているとの報告があった。

すべからく…田代理事が新会長に

—得票数トップ、若手・鈴木理事に期待—

第3号議案である「任期満了による役員改選」は木野選挙管理委員長から、理事選挙の開票結果が報告され、立候補者全員が過半数を獲得し、当選となった。

信任投票の形となった監事選は、熊倉靖会員、綿貴豊会員が当選した。

日整代議員及び補欠代議員については、代議員は田代富夫理事・江原義明理事。補欠代議員は、半田光男理事・塚原剛理事となった。



新役員による理事会が開催され、新会長に田代富夫理事、副会長に江原義明理事、副会長兼経理部長に半田光男理事、総務部長に石井士朗理事、保険部長に塚原剛理事、学術部長に高野康弘理事、事業部長に倉持雅之理事、広報部長に小森照久理事、介護保険部長に新任の鈴木忠夫理事が選任された。

支部長選任についても、すでに各支部において支部総会が開催されており、理事会において承認された。

田代富夫新会長は就任あいさつで「片岡前会長から多くのご指導を賜り、ご期待に応えられるようこれから頑張りたい。会員目線で、何が会員のために最も大切な

か、何をすべきか、どう考えるべきなのか、理事一人ひとりが考え執行する。柔道整復師の認知度を上げ、一丸となって、患者さんが安心して通えるような環境づくりに尽力したい」と述べた。

いまだ収束せぬコロナ禍において、日常の生活様式がさまざまな形で変わってきているこのご時世、柔軟な頭と姿勢で流れを引き寄せていかなければならない。

新会長の言葉のとおり、一丸となってこの難局を乗り越えていこう。

広報部 丸山佳洋

Zoomで参加してみたら...

1時間経過したころ、機器トラブルにより一時中断。視聴していた会員は、自身の機器トラブルと思いZoomを再ログインなど、試行錯誤していました。10分ほどで回復し、その後は順調に視聴できました。ちなみに、携帯回線を利用した場合、1時間あたり0.5G（ギガ）程度の通信料が必要です。Wi-Fi環境でない方はご注意ください。

広報部 大関俊明



◆腰部の腫脹および腫瘍

1. 外傷性

(1) 骨折、脱臼

強い外力が脊椎に加わることで骨折する。また、関節や靭帯が破壊されることで脱臼を起こし、骨折を伴うこともある。

腫脹や血腫の圧迫などにより、脊髄や神経根、馬尾にも影響が及ぶことがあり、下肢のしびれや痛み、麻痺などの症状が現れることがある。

(2) 打撲

直達外力による強打、または、極度に強い圧力で圧迫されて発症する皮下損傷である。

皮下または皮内に内出血、腫脹があり筋膜や筋の断裂を伴うこともある。

2. 炎症性

(1) 脊椎カリエス

結核菌による脊椎椎体の感染症。高齢者に多いが、あらゆる年齢に発症する。肺結核や尿路結核に続発する。

全身症状は倦怠感や微熱。局所症状として、初期には体動時痛や脊柱の不撓性、棘突起の叩打痛を認める。進行すると、POTTの三徴候といわれる、亀背・冷膿瘍・脊髄麻痺が認められる。進行は緩やかであるのが特徴である。

(2) 化膿性脊椎炎

黄色ブドウ球菌や種々の弱毒菌が起炎菌となり発症する。

急性では腰背部の激痛や高熱、慢性では程度が軽くなる。疼痛は持続的な安静時痛で、体動により増強する。

脊椎の破壊に伴い麻痺などの神経症状が生じる。

高齢者に多く、必ずしも全身症状がはっきりしないこともある。

(3) 硬膜外膿瘍

脊柱管壁と脊髄硬膜の間に形成された膿瘍で、血行性感染や化膿性脊椎炎からの波及、手術や硬膜外注射、硬膜外持続麻酔などによる直接感染によって

発症する。

胸・腰椎に多く、急性発症では発熱や腰背部痛を認める。膿瘍や肉芽組織による直接的な脊髄圧迫や脊髄の血液循環障害が起こった場合には麻痺が発症する。

3. 腫瘍性

(1) 軟部腫瘍

脊柱管内に発生した腫瘍を総称して脊髄腫瘍という。腫瘍の存在部位により、硬膜外腫瘍・硬膜内髄外腫瘍・髄内腫瘍に分類される。

●硬膜外腫瘍

転移性の腫瘍が多数を占める。原発性は神経鞘腫や脂肪腫がある。

●硬膜内髄外腫瘍

脊髄腫瘍の中で最も多い。大部分は神経鞘腫か髄膜腫である。

●髄内腫瘍

脊髄内に発生した腫瘍により脊髄が腫大する。上衣腫、星細胞腫、血管芽腫、脂肪腫などがある。良性か悪性かの鑑別が重要である。通常多くの軟部腫瘍は無痛性であり、かつ機能障害を生じることが少ないため、患者が痛みを主訴として受診することは少ない。そのため腫瘍がかなり大きくなってから受診することが多い。

(2) 転移性腫瘍

末期癌患者では、高率で脊椎への転移がみられ、腰椎に好発する。原発巣は肺、乳腺、前立腺、甲状腺、肝臓、腎臓、直腸、子宮が主である。

激しい腰痛が主症状になり、さらに進行すると神経根あるいは馬尾が侵され、下肢痛、下肢麻痺、排尿障害などが出現する。

4. 先天性

(1) 髄膜ヘルニア

脊椎破裂部から髄膜が腫瘤状に膨隆している状態。内容物は髄液のみで脊髄馬尾神経は正常な位置にある。神経障害を伴わない。

(2) 脊髄髄膜瘤

髄膜瘤に加えて、脊髄や馬尾が脱出している状態。腰仙移行部に起こることが多く、歩行障害や排尿・排便障害を起こす。出生時、腫瘍や下肢麻痺の存在により容易に診断される。

学術部 大芦昌代

My Box 支部リレー投稿

第207走者 塩谷支部 尾形廉次郎

松尾芭蕉と日光北街道 ～ウォーキングは不易流行?!～

突然ですが私の生家はなんと江戸時代の「俳聖」松尾芭蕉が一晩泊まった場所なのです。

元禄2年4月2日、芭蕉一行が今市から黒羽に向かう途中、突然の雷雨に遭い、日光北街道玉生宿の庄屋玉生家に宿を借りたそうです。この玉生氏の邸宅が現在の旧尾形医院跡地であり、まさに私が産まれたところだったのです。

日光北街道は、江戸時代に奥州街道大田原宿と日光街道今市宿を結ぶ脇街道として整備されました。現在の国道461号にほぼ沿っているルートです。

奥州の諸大名が日光参拝時に利用したり、奥の細道で松尾芭蕉が長期滞在していた日光から黒羽に移



動する際に利用しました。

街道の宿場今市宿・大渡宿(日光市)、船生宿・玉生宿(塩谷郡塩谷町)、高内宿・矢板宿・沢宿(矢板市)、薄葉宿・大田原宿(大田原市)をつなぐ約40kmの道のりです。

昔の人々は歩くことが移動手段でした。現代人の私たちも昔の人に習い、歩くことの大切さを知り、自己の健康を管理する時が来たのかもしれない。

ちなみにわが塩谷町では「健活ウォーキング」と題してウォーキングを推奨しております。

私も芭蕉翁にあやかり塩谷町主催の「健活ウォーキング」に参加して一日8,000歩を目標にウォーキングに励んでいます。

町から貸し出しされた万歩計に歩数を記録し、ポイントに応じて塩谷町で使える商品券がいただけるシステムなので、目の前に人参をぶら下げられたお馬さんのごとく、日々歩いています。

今はコロナ禍で整骨院の業務も大変な時期ですが、落ち着いたら日光北街道の宿場巡りなど歴史に触れる時間が欲しいと思っております。

皆さんも地域の歴史に目を向けてみることをお勧めいたします。

次回は那須支部にバトンタッチです。

こだわりひと
趣味人 - あなたの知らない世界 -



時計のおはなし PM 11:00

小山支部 塚原 剛

時計が欲しい!!

◇煩惱に溺れる幸せな時間

こういった物欲が出た場合には、素直に物欲に浸るのが精神衛生上よろしい。



去年のコロナ禍(現在も進行中)では際限のない物欲にまみれてしまい、新顔の時計が急増してしまいました。もちろん、限りある小遣いをやりくりするので、高級品は無理です。

自分の好みに合った時計を探すのですが、第一選択肢は「ヤフオク」。オークションサイトを眺め、感性に訴えかけてくるブツを探し、駆け引きの機微を味わいながら手に入れる。たいていは「ジャンク品」「不動産」などと明記された、いわば故障・修理前提を謳った価値の低いものを入手します。

入手後に分解し、修理・整備をしながら楽しむという、時計趣味の王道から外れた嗜好を持っていますので、安上がりには時計のコレクションが可能です。

正規の輸入販売品であれば数十万のところをオークションなら数万円程度で入手可能。修理をするという楽しみのおまけがつきますので、物によってはひと月以上も楽しむことができます。

夜、家人の寝静まったあと、あるいは休日に、ルーペを使いピンセットをつかんで一心不乱に時計をいじるのは、私にとって至福の時間になります。上手く修理ができたときの満足感がたまりませんね。

もちろん、皆さんへのお勧めは高級品になればなるほど「正規店で新品をお買い求めください」となります。中古やジャンク品の購入は高リスクですので絶対にやめましょう。

5年後、10年後のメンテナンスまで考えれば、あるいは不調や故障を考えれば、正規店でのご購入のメリットは大きくなります。

実用品として、あるいはファッションとして、アクセサリーや見栄を張る小道具として、さまざまな見方ができる腕時計ですが、お買い求めの際は機械式の腕時計もご考慮ください。

皆さんも、愛着の湧く一本…いやいや10本でも20本でも、出会えますように。

おわり

「経営していますか？」

時々、会の仲間から「先生、経営の話をしてくださいよ」と言われます。というのは、私は約7年前から教育研修会で経営を勉強しているからです。

実際、経営には多くの内容がありますが、その中でも分かりやすい『企業の方向づけ』についてお伝えしたいと思います。

◆ 他院との違いを言えますか？

当会の多くの会員は個人事業者です。その個々の先生方にとって一番大事なことは『方向づけ』です。それは、何をやるか、何をやめるかを決めることです。

体に痛みを感じたとき、昨今は近隣に整骨院・接骨院、整形外科、整体院、治療院、ほぐしマッサージなどが溢れているため、患者さんはどこに行ったらよいか分かりません。ここで重要なのは、何をやるか、やめるかを決め、差別化つまり他院との違いを明確にすることです。

私は来年で50歳になります。柔道整復師の資格を取得したのは、21歳の時でしたので約30年間柔道整復師として働いてきました。

最近特に思うのですが、私は柔整師らしくない柔整師です。なぜなら、30年も柔整師の仕事をしてきたにもかかわらず、骨折の整復は一度も経験したことがないからです。骨折の患者さんが来たら病院にそのまま紹介したとかでなく、単純に骨折の患者さんが来院しなかっただけなのです。肩関節脱臼の整復は一度だけ経験しましたが、あのハマったときの感触は忘れられません。肘内障でさえ30年間で5回ほどでしょうか。

今回、栃木県柔道整復師会が100周年記念事業として行ったテレビのインタビューで「柔道整復師は何をされるお仕事なのですか？」と聞かれ、片岡会長は「骨折・脱臼・打撲・捻挫・肉離れ（挫傷）、その他にも腰痛や膝の痛みなど」と話していましたが、私の柔整師人生においては、骨接ぎをする患者に出会わず、腰痛や膝の痛みなどの筋肉や関節痛ばかりを治療してきました。

会員の先生方は、同じ地域の整骨院、整形外科、治療院などがどんな院なのか、何を主にしている院なのか知っていますか？ネットで検索すれば何となく理解できるかもしれませんが、そこの院とご自分の院の違いを明確に言えますか？意外と言えないものです。

なぜなら、他院がどんなことをしているかほとんどの先生は知らないからです。さらに患者さん側からすると、

整骨院の看板があつたらどこの院も同じように骨折・脱臼・打撲・捻挫・肉離れ（挫傷）、その他にも腰痛や膝の痛みなどを治療してくれるところなので、どこに行っても同じだと患者さんは理解しているのでしょうか。それとも「あそこの整骨院はほかの整骨院と違う！」と認識しているのでしょうか。

また、整骨院だけに限らず、整体院との差別化を言えますか？保険が使える、使えないなどの差別化ではなく、患者さんが悩んでいることに対して他院とここが違うということを考えないといけないと思うのです。

◆ 話を聴いて話すことをやめる

私の場合、例えば病院で良くならなかった腰痛の患者さんに対して、初検時には問診（傾聴中心）、検査、説明、今までと当院の治療法の違い、治療計画など治療に入るまで30分かけて話し合います。その結果、患者さんからは「こんなふうに丁寧に話を聞いてくれたのは初めてだ」と言ってもらい、信頼関係ができるのです。これが私の差別化のひとつです。

もうひとつは、初検時に私が細かく話すことをやめたことです。そう、どうしてもこちら側は知っている知識を伝えたく、いろいろと話したくなるのですが、そういう話をするのはやめました。

患者さんは先生の話を知りたい以上に自分の話を聞いてほしいのです。自分という存在を知ってもらった上で、今までの治療とこれから受ける治療法の違い、治療計画などが伝わると患者さんは安心するのです。

いかがでしょうか。うまく言えませんが、他院と違うことをしているからこそ、患者さんは貴院をより知ることができるのです。まずは、じっくりと考えてみてください。「ご自身の院と地域の他の院との違いは？」箇条書きでいいので書き出してみると、何か感じるものがあるはずですよ。

宇都宮支部 川野辺弘

保険関係



Q

当院へ1回のみ来院した患者さんのもとへ、健康保険組合から患者照会表が送られてきました。

1回のみ施術での請求でも患者照会表を送るという行為は、「受診抑制」になると思いますがどうでしょうか？

A

当該保険者および患者調査の委託を受けた点検業者の担当者に、上記の点を確認したところ、以下のような回答を受けました。

「受診抑制の目的ではなく、1回のみ申請であったため、療養費を迅速に支払うために、慰安目的ではないという証明が必要であり、負傷原因を確認するための調査を行った。

受診を抑制するような文言は使用していない上、ケガであることを確認できる項目を第1項目に設定している」との回答を得ました。

平成30年に厚生労働省より発出された連絡文には「受診の抑制を目的とするような実施方法は厳に慎まれない」と明記されていますが、受診抑制と明確に受け取れる文章が記載されていない場合には、保険者の主張する「迅速に支払うために負傷原因を確認した」という主張までも否定することはできないと思われます。

しかしながら、本案件のように1回の通院でも調査を行うという手法は、「照会が不要と思われる請求についてまで照会を行っているという例や悉皆（残らず全部）による照会を行っている例」に該当するとも思われますので、健康保険組合および調査受託業者の担当者には留意していただけるよう申し入れを行いました。

また、このような事案については合わせて厚生労働省への資料提供を行っていきます。

現状は、すべての保険者が何らかの形で患者調査を行っていますので、初検の際に予診票を確実に記載していただくとともに、患者さんの記憶が曖昧とならないよう、きちんとした説明を心掛けましょう。



ほねつき日記

人生100年超え 2回目の一升餅

たまに顔を見せてくれる千代さん(仮名)は101歳。杖をつきながらもご自分の足でしっかり歩いてきます。

お家では、2階の自室まで毎日階段の上り下りをします。以前、90歳を超えたときに「1階に部屋を移したらどう？」と聞くと「足腰が弱るからいやだ」と言っていたツワモノです。

ある日、そんな千代さんがこたつの布団に足を引っ掛けました。普通ならば転倒して腕や脚・背骨など、どこかしらの骨折は免れないところですが、100年間鍛えた下半身とバランス感覚、そして最高の強運の持ち主である千代さんは、ずいと踏ん張り見事に体勢を立て直したそうです。

そばで見ていた娘さんも、一瞬肝を冷やしましたが「よく転ばなかったねえ！」と驚いたそうです。

それから2、3日経って右の膝が少し痛いと訴える千代さん。じゃあ痛いついでに元気な姿を見せて、接骨院に行ってくださいかということになり、さっそくデマンドタクシーを予約しました。

幸い膝の症状は軽く、ADLの低下もなく、いつもと変わらない生活ができるレベルでした。相変わらずニコニコの元気な顔を見られて、逆にこちらが元気をいただきました。

帰りに娘さんが「これを見てください」と差し出したスマホ。そこに写っていたのは、背中に東京ボン太(若い人は知らないか?)のような唐草模様の風呂敷を背負った千代さん。人生2回目の一升餅の写真でした。

来年は103歳・・・「七五三をやる予定です」と言って笑って帰っていきました。

※一升餅(一生餅)とは、一升分のお米(約1.8kg)を使って作るお餅で、実際は蒸してお餅をつくため、2kgぐらいの重さのお餅になります。このお餅で、1歳の誕生日を祝います。



那須支部 高野康弘

コラム

復興五輪の意味するものは？

忘れることのできない
未曾有の大災害、東日本
大震災から10年が過ぎ



た。東北は徐々に復興してはいるが、福島県ではいまだに帰還困難地域が残る。

4年前、所用で南相馬市に行ったが、常磐道には放射線量の掲示板が数kmおきに設置されていた。

浪江ICを出ると、いきなり警察車両と立入禁止の標識に驚いた。そこから6号線に向かい114号線を東進すると、道路わきに「スクリーニング場」という見慣れない看板と共にプレハブ小屋がいくつも並んでいる。放射性物質が衣服や体の表面に付いているかを調べる場所らしい。

さらに進むと朽ち果てた神社や瓦が崩れ落ちた民家が目に飛び込んでくる。あの日から時間が止まっているようだ。すれ違う車は極端に少なく、そのほとんどが警察車両だ。浪江の市街地を通過したが、商店はあるものの営業している気配はない。見かけた人影はほんの数人だった。「ゴーストタウン」とはこういうものなのかと思う。

6号線を左折、やっと車両が流れている道路に出た。街道沿いでも開いている店はコンビニだけ。住民というより、6号線を利用する人たちが立ち寄るために開いているようだった。

そのまま北上していくと「津波浸水区間」という看板が目につく。津波によって浸水した地域を示す看板のようだ。建造物はほとんど見当たらないかわりに、除染作業で削り取られた汚染土などが詰まった廃棄物フレコンバッグが数千個単位で置かれている。ここは仮置き場で、中間貯蔵施設に運び込まれる計画ということだが、この膨大な数の汚染土はいつになったらなくなるのだろう。

「復興五輪」を掲げた東京オリ・パラ大会だが、被災地区の「土木建設業者の不足と工事費の高騰による復興の停滞」を五輪が招いたことは事実。原発周辺地区の復興は程遠く、放射性物質の漏出が続き汚染水貯蔵の限界が目前に迫っている。東北の避難民は10年も経った今でも4万5千人だ。

日本人として、東京五輪の成功を望む一方、「復興五輪」が絵にかいた餅にならねばいいと切に思う。
不識院後光守

支部だより

足利支部

事前準備でオンラインでも支障なし

5月11日、足利支部総会がオンラインにより開催された。

今回は資料を事前に郵送していたことで、多田支部長はじめ各部からの報告はスムーズに進み、救護派遣の分担などの協議事項も事前に調整済みで、資料確認を行うだけで済むようにした。

江原副会長からも「今年度も当会の事業はオンライン開催が主体となる見通しだ」との報告があった。

なお、任期満了に伴う役員改選は下記のとおり。

支部長	高村嘉一 (新任)
副支部長	石井悟朗 (新任) 片柳敏彦 (留任)
学術部	星野訓昭 (留任)
事業部	阿部建太 (留任)
広報部	大関俊明 (留任)
介護保険部	阿部達也 (留任)

本来であれば支部会后、多田前支部長の慰労会を開催したいところではあったが、このご時世では見送らざるを得なかった。多田前支部長のこれまでのご尽力に感謝し、いつか慰労させていただくことができると願う。

通信員 大関俊明

薄毛戯言(深読禁止)

「情けは人の為ならず」…とは？

国語に関する世論調査によると、半数の人が「情をかけることは、かえってその人のためにならない」と答えています。これだと「情けは人の為にはならず」になってしまいます。

この言葉は大正4年に発売された、新渡戸稲造の格言集「一日一言」に掲載されている詩の一部です。

施せし情けは人の為ならず
おのがこころの慰めと知れ
我れ人にかけてし恵は忘れても
ひとの恩をば長く忘るな

情けは他人のためではなく自分自身のためにかかるものだ。だから自分が他人にした良いことは忘れてもいい。でも、人から良くしてもらったことは絶対に忘れてはならない。

これを読めば「情けは人のためではない。自分のためだ」ということがわかりますね。

2021 (令和3年)

行事予定

※定例診察日は第1・第3日曜日の10:00~12:00を基本としますが、諸般の都合により、日時・スタッフ等が変更となる場合があります。
※定例診察の受付は9:30~11:30

7月

- 4日(日) 10:00 定例診察 [とちのきクリニック] 飯島医師・野澤・館・小林
- 9日(金) 療養費支給申請書締切日
- 11日(日) 第86回学術講演会 (Zoom配信)
 - 10:00 ①日整「匠の技エコー初心者基礎研修」
 - 11:10 ②栃柔整「保険講習会」
- 13日(火) 20:00 とちのき8月号編集会議 小森・手塚・加藤
- 14日(水) 20:00 理事会
- 16日(金) 20:30 予備点検 [当会館] 理事・監事・支部長
- 18日(日) 10:00 定例診察 [とちのきクリニック] 須田医師・滝田・直江・大木
- 20日(火) 14:00 労災審査 [当会館]
 - 20:00 とちのき校正会議 小森・加藤・丸山
- 27日(火) 10:00 協会けんぽ審査会 [パーティ]
 - 10:00 国保審査会 [国保連合会902号室]
 - 20:00 IT委員会 小森・館

8月

- 1日(日) 10:00 定例診察 [とちのきクリニック] 須田医師・高野・岡本・小林
- 10日(火) 療養費支給申請書締切日
- 12日(木) 20:00 理事会 (支部長参加)
- 17日(火) 14:00 労災審査 [当会館]
 - 20:00 とちのき9月号編集会議 小森・丸山・三上
 - 20:30 予備点検 [当会館] 理事・監事・支部長
- 22日(日) 10:00 定例診察 [とちのきクリニック] 飯島医師・野澤・鈴木勝・大木
- 23日(月) 20:00 とちのき校正会議 小森・三上・植木
- 25日(水) 10:00 協会けんぽ審査会 [パーティ]
 - 10:00 国保審査会 [国保連合会902号室]
- 29日(日) 9:00 栃木県・佐野市防災訓練 [田沼グリーンスポーツセンター]
- 31日(火) 20:00 IT委員会 小森・植木

(変更や追加などはホームページをご覧ください)

information

お知らせ

会員数

令和3年6月1日現在

会員数	392名
[内訳] 会員	390名
研修柔道整復師	2名
施術所数	369院



会員の異動状況報告

研修柔道整復師

- ・足柔整100 熊倉 悟 熊倉整骨院
〒326-0835 足利市里矢場町2146-1
☎0284-72-3773 令和3年5月23日 入会

訃報

小山支部 高嶋 大樹 会員 (42歳) がご逝去されました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

ご会葬御礼

過日は、ご多忙中にもかかわらず、会員の皆様にはご会葬を賜り誠にありがとうございました。

小山支部 高嶋 和子

ニューフェイス

①支部名 ②生年月日 ③施術所名
④施術所住所 ⑤TEL ⑥出身校
⑦入会年月日 ⑧趣味 ⑨抱負

渡邊 浩人 わたなべ ひろと

- ①小山支部 ②昭和59年2月28日
- ③たかしま整骨院 ④〒323-0824
- 小山市雨ヶ谷新田49-7 ⑤0285-37-9969
- ⑥さいたま柔整専門学校(平成25年度卒業)
- ⑦令和3年6月1日 ⑧ゴルフ、テニス
- ⑨地域の皆さまに愛される院を作りたいです。



川 柳

塩谷支部 船橋 仁和

ずれ易いマスクに鼻の低さ知る
肝心な所でミスする人間味
逆境に耐えろと寄ってきてる運



編集後記

夏の猛暑対策として自宅のベランダできゅうり、ゴーヤ、朝顔を育てはじめた。グリーンカーテンになるのが理想だが収穫も楽しみだ。ツルよ、伸びろ！実よ、大きくなれ！そしてちょっとした酒の肴になってくれ。 HIDE